

第10回行政改革推進本部会議(メモ)

出席者

- ・市長 ・助役 ・収入役 ・教育長 ・議会事務局長 ・総務部長 ・市民部長
- ・観光商工部長(観光課長代理) ・都市建設部長 ・上下水道部長 ・企画部長
- ・健康福祉環境部長 ・農林振興部長 ・教育次長 ・消防長 ・金山病院事務長
- ・萩原振興事務所長 ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長 ・金山振興事務所長
- ・馬瀬振興事務所長 ・総務課長 ・秘書広報課長
- ・事務局：行革推進室：池戸室長 今井 野村

会議メモ

1、開会 総務部長

2、本部長(市長)あいさつ

「市長への手紙」の取扱

- ・全てに礼状を送付するが、手紙の内容によって次のように回答する
 - 多くの市民が指摘している重要な問題・・・広報紙上で回答
 - 一部の市民しか指摘していないが重要な問題・・・直接手紙等で回答
 - ただ聞いて欲しい内容、情報提供、提案・・・特に無し

若手職員との職員研修について

- ・行政改革と市長と若手職員の交流を目的に月2回開催している。その中で提言をうけたもので、すぐできるものはすぐ取りかかる、を原則にいろんな提案を受けている。
- ・市外に出す封筒、特に観光パンフレット等を送付する場合、手書きのメッセージを添えること。

例)「こんにちは。下呂は新緑の季節を迎えました。」など

6月議会に向け3月議会の約束事項を速やかに実現すること

- ・3セク審議会、地産地消審議会については早く立ち上げること

3、協議事項

1) 行政改革推進本部の取り組み状況について(資料に加え次が追加説明された。該当部のみ)

- ・会計課・・・支払い命令は55000件、その他調定等含めれば100,000件を超える。
- ・議会事務局・・・4月の人事異動で議長運転手が廃止され、総会等が集中する4～5月の議長の会議等出席が心配されたが、秘書広報課、教育委員会と調整して、4月は2～3回、5月は4～5回の会議等に支障なく参加することができた。
- ・総務課・・・萩原庁舎の電話問題は、6月から星雲会館の教育委員会と健康福祉環境部に、それぞれ1台ずつ外線受信電話を設置することによって解決を目指す。

電話対応については、相手に失礼の無いよう、ソフトな対応を心がけて欲しい

(市長)

- ・観光商工部・・・I S M Sの適用を受けるような情報がほとんど無いので、来客は事務所内の応接コーナーで対応しているが問題は無い。
- ・上下水道部・・・上下水道分室が本課に統合され実質的に人員減となり、水道の管理委託をしている旧下呂町以外については、現場点検業務にとっても苦慮しており、今後の改善が必要である。また、連休中に下水のトラブルがあったが、職員が上手く対応してくれた。
- ・農林振興部・・・森林施行計画等について外注(アウトソーシングについて)の検

討をしている。

- ・萩原振興事務所・・・再生紙をなるべく使うようにしているが、個人情報など機密情報の流出には十分注意したい。
- ・下呂振興事務所・・・市長提案どおりに職員が各課まで案内すると、課内が手薄になり業務に支障がでることもあるが、ケースによって対応を変えるなど、工夫をして再度試みしてみる。
- ・金山振興事務所・・・庁舎4階が空いているので、有効利用と併せ、エレベーターを3階までとするとか、外光が入る階段室を消灯するとか、省エネ対策を考えている。省エネ対策は次回までに何らかの対応ができていると思う。
- ・馬瀬振興事務所・・・I S M S対応として、住民との応接コーナーを旧会計室に設けるよう整備を始めた
- ・消防本部・・・J R西日本の福知山線事故を教訓に、平成17年度消防本部主要目標を定めた。

2) 下呂市行政改革の進捗状況

資料に基づき行政改革推進室が説明

3) 分科会等で検討し実施に向けた具体的提案について

- ～ について行革推進室から資料に基づき説明
- ・補助金分科会で各補助金について検討した結果をしらさぎネットで流すので、平成18年度予算編成において考慮すること。
- ・人事給与分科会から提案された旅費日当の見直しについて、県内日帰り出張に係る旅費日当2000円は廃止する。
- ・教育委員会の各種事業は、教育振興、地域振興の目的をもった重要なものであり、財政事情により一律にカットされると、教育効果は低下し、地域活動が衰退するという悪い影響が生じる。
イベントについては今後、事業等の効果や重要性を検討し、事業ごとに補助金支出の適否、イベント実施の適否を判断していく。(行革室)
- ・ひだ金山清流マラソン、御岳マラソンは、振興事務所からスポーツ担当がいなくなったので、企画実行はスポーツ課、手伝等は地元振興事務所や体育協会を担当する。(教育長)

4、下呂市行政改革専門分科会設置規程及び下呂市職員接客サービス向上委員会設置規程の制定について

要綱(案)について行革室から説明

- ・委員会を組織しての内部啓発も重要であるが、実際に研修することも必要でないか。(教育長)
- ・人事課では職員研修として接遇研修が計画されており、市民部においても行革大綱にのっとり窓口サービスの改善に努めていきます。
- ・対応(接遇)はそんなに悪くないと思うが、なにより顔見知りの職員がいなくなることが、住民にとって市役所が身近に感じられない理由かもしれない。しかし旧町村間の人事交流は必要であるので、そのような環境の中でより良い住民サービスに心がけるように努めなければならない。

5、課長・監・主幹研修について

資料に基づき行政改革推進室から説明をした。